

すくすく

たけのこキッズ

第24号



川崎こどもクリニック

〒597-0102 貝塚市木積656-7

電話：072-421-2033

http://www.kawasaki-kc.jp

平成18年9月1日発行

秋の気配

朝夕は過ごしやすくなりました。この季節になると喘息の児や気管の弱い児はゼーゼーすることも多いようです。2学期となり、生活リズムが変わったり、運動会の練習で疲れたりしやすくなります。体調管理に努めてください。



(遊園地らしい写真を捜した結果、写真はエキスポランドのホームページからとらせていただきました。)

日本脳炎ワクチンどうなった

昨年5月末に厚生労働省から「積極的勧奨」を中止するよう各市町村に通達がありました。その主な内容としては、①重症の急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) という副作用の事例が発生したこと、②そういった副作用の少ない改良型ワクチンが開発中であり、まもなく接種できる体制になること、③以上より急ぐ必要のない場合には接種を見合わせる、ということでした。

一方、現在のワクチン開発状況ですが、当初の予想より大幅にずれ込んで販売 (接種) できるまで開発中の2社のうち1社があと2年、もう1社は5年ほどはかかる見込みということのようです。このことから「2年あまりの間に日本脳炎ワクチンを接種する予定のある (あるいは接種する必要がある) 人は待つ意味が全くない」こととなります。公費負担の7歳未満という期限も延長されない可能性もあります。また、改良型ワクチンでも急性散在性脳脊髄炎 (ADEM) という副作用はゼロにはなりませんし、現在のワクチンでも100万接種に1回程度のレベルの頻度で、そのほとんどは治療可能です。

厚生労働省から市町村への勧告があり、また私たちは市町村からの委託により接種に携わっていますから、残念ながら「積極的勧奨」はできません。でも上に書いたことから「打ったらえんちやう」という「普通の勧奨」をさせていただきたいと思えます。接種にあたっては厚生労働省の指導に則って同意書をいただきますが、あとは他のワクチンと同様です。

風疹ワクチンあります

風疹単独のワクチンの供給がストップしてご迷惑をかけていましたが、各所にお願した結果現在数本のストックがあります。未接種者に対する貝塚市での移行措置も本年度中の予定となっていますので、該当される方はお尋ねください。

MR 2期の時期を過ぎた児は?

去る6月1日からMRワクチンの2期接種が始まりました。しかし、ここでのお話は2期ではなくて「2回目のMRワクチン」についてです。2期のMRワクチンが始まると「下の子は麻疹風疹とも2回ずつ接種することになるが、上の子は1回でいいの?」という疑問を持たれる方もあるようです。実は1回目のMRワクチンは、①1歳過ぎに接種したワクチンで免疫が充分に付いていなかった場合の救済、②一旦獲得してのちに低下してきた免疫をもう一度強くする、の2つの意味合いがあります。そのうち小学校就学前の時期に打つ場合は①の意味合いが強いものですので、自費で2回目を打つ場合は小学校4~5年以降早めにとお勧めしています。

チャイルドシートをつける目的



秋の行楽シーズンに向けて子供を車に乗せて遠出することも多くなるのではないのでしょうか。車、子供と来ればチャイルドシートです。なぜチャイルドシートをつけなければならないのでしょうか。理由は万が一の事故の時に子供を守るためです。泣いて嫌がるからということで抱っこしていても、手の力はたかが知れています。時速50kmで衝突

した場合、体重8kgの赤ちゃんは突然体重35kg相当の負荷としてお母さんの腕にかかりますから、どんな力持ちのお母さんでも支えるのはどうも無理、赤ちゃんはダッシュボードへと突っ込んで行きます。チャイルドシートは子供のために絶対に必要なのです。

なお、テレビコマーシャルで最近よく見るのですが、パワーベストという商品があります。これは道路交通法の基準はクリアしていても、子供を保護するという機能からみると到底不足です。チャイルドシートをつけるのは「免許の点数がこわいからではなく、子供を守るため」であることを再認識して、チャイルドシートを選択していただきたいと思えます。(これから購入される場合は安全性の高いシートをアドバイスさせていただきます。)

